

# 飼料作物奨励品種特性表

令和5年3月  
茨城県

# 目 次

I	イネ科牧草類	1
1	イタリアンライグラス	
2	オーチャードグラス	
3	トールフェスク	
4	ペレニアルライグラス	
II	マメ科牧草類	2
1	アカクローバ	
2	シロクローバ	
III	飼料作物類	3
1	トウモロコシ	
2	ソルガム	
3	ライコムギ, ライムギ	
4	エンバク	
5	ヒエ (準奨励)	
IV	飼料向けイネ	5
1	飼料用稲 (飼料用米用)	
2	飼料用稲 (稲発酵粗飼料 (イネWCS) 用)	

# I イネ科牧草類

## 1. イタリアンライグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草型	耐倒伏性	耐病性	収量性(t/10a)		利用型	利用法	刈取 回数	特 性
							生草	乾物				
タチワセ	雪印種苗	早 生	4月上旬	直 立	中	弱	6.0	0.9	短 期	サイレージ	1~2	草型が直立型で、刈り取り効率が良い。マメ科牧草との混播に適する。
KAIR-E1803	全酪連	早 生	4月上旬	直 立	強	-	5.3	0.9	短 期	サイレージ	1~2	草型が直立型で、耐倒伏性に極めて優れる。また、細茎で分けつが多いため多収。
タチユウカ	畜草研、雪印種苗	早 生	4月上旬	直 立	強	弱	5.3	1.0	短 期	サイレージ	1~2	硝酸態窒素、カリウム含量が低い。
タチムシャ	雪印種苗	中早生	4月中旬	直 立	強	弱	6.5	1.0	短 期	サイレージ	1~2	耐倒伏性が強く、ニオウダチよりも5~7日収穫日が遅い中生品種である。
ナガハヒカリ	農研機構	中生	4月下旬	直 立	強	-	7.2	1.2	短 期	サイレージ	1~2	4倍体品種。寒冷地での栽培に適する。収量性に極めて優れる。
ビリケン	雪印種苗	中晩生	4月下旬	やや直立	強	強	6.6	1.0	短 期	サイレージ	1~2	4倍体品種。耐寒・耐雪性に優れる。

## 2. オーチャードグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						黒さび病	うどんこ病	生草	乾物		
ナツミドリ	雪印種苗	早生	5月上旬~中旬	直 立	やや強	強	弱	6.0	1.1	サイレージ、青刈り、乾草、放牧	越夏性に優れ、秋の収量が多く、温暖な地域に適する。
ポトマック	雪印種苗	早 生	5月上旬~中旬	直 立	やや強	強	中	6.0	1.1	サイレージ、青刈り、乾草、放牧	耐病性、耐暑性に優れ、再生が良好である。

## 3. トールフェスク

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						冠さび病	-	生草	乾物		
ウシブエ	雪印種苗	中 生	5月上旬	中 間	-	-	-	5.0	1.1	放牧、採草	環境適応性に優れ、永続性良好。

## 4. ペレニアルライグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						冠さび病	-	生草	乾物		
フレンド	雪印種苗	晩 生	5月下旬~ 6月上旬	中 間	やや強	やや強	-	8.8	1.7	採草、放牧	耐寒性、雪腐病抵抗性に優れ、再生が良好である。

## II マメ科牧草類

### 1. アカローバ

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	開花期	草型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						菌核病	茎割病	生草	乾物		
ケンランド	アメリカ	早 生	5月下旬	直 立	強	中	弱	5.9	0.8	青刈り、乾草	耐暑性がやや強く、多収である。

### 2. シロローバ

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	開花期	草型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						そばかす病	黄斑モザイク病	生草	乾物		
フィア	ニュージーランド	早 生	5月下旬	ほふく	—	強	やや強	4.2	0.9	放牧	コモン型で葉は小型、良く密生し、永続性が良好である。

### Ⅲ 飼料作物類

#### 1. トウモロコシ

系統名	流通名	育成地 又は導入先	早晩性	RM	黄熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
								すす紋病	紋枯病	生草	乾物		
タラニス	タラニス	カネコ種苗	極早生	95	8月上旬	232	中	強		3.8	1.3	サイレージ	子実・草姿が大型。多収ですす紋病抵抗性に優れる。
P9400	バイオニア100日	バイオニア	極早生	100	8月上旬	245	強	強		6.4	2.2	サイレージ	多収である。
北交65号	北交65号	北農研	極早生	105	8月上旬	219	強	強		4.0	1.3	サイレージ	多収で、初期生育、耐倒伏性に優れる。すす紋病抵抗性に優れる。
34N84	バイオニア108日	バイオニア	早生	108	8月上旬	201	強	やや強		6.0	1.8	サイレージ	栄養収量が高く、耐倒伏性に優れる。
LG30500	スノーデント110	雪印種苗	早生	110	8月中旬	235	中	強		4.2	1.6	サイレージ	茎葉割合が高く多収。ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
P1204	バイオニア110日	バイオニア	早生	110	8月上旬	219	強	—		4.6	1.5	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。
TX1334	ロイヤルデントTX1334	タキイ種苗	早生	115	8月中旬	246	強	強		4.7	1.7	サイレージ	子実割合が高く多収。ごま葉枯病、すす紋病及び根腐病抵抗整備優れる。
KD671	ゴールドデントKD671	カネコ種苗	中生	117	8月中旬	259	強	中		6.3	2.2	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。
NS118S	サイレージコーンNS118スーパー	カネコ種苗	中生	118	8月中旬	293	強	強		6.9	2.0	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
P2088	バイオニア118日	バイオニア	中生	118	8月中旬	300	強	強		7.2	2.2	サイレージ	多収で、耐倒伏性、耐病性に優れる。
KD731	ゴールドデントKD731	カネコ種苗	中生	123	8月中旬	266	強	強		7.4	2.1	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。ごま葉枯病抵抗性に優れる。
SH4812	スノーデントSH4812	雪印種苗	中生	125	8月下旬	299	強	強		6.9	2.1	サイレージ	初期生育が良好で、雌穂割合が高く多収。
GX6836	Z-Corn128	全酪連	中生	128	8月下旬	273	強	強		5.7	1.9	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。また、二期作に適する。
NS129S	サイレージコーンNS119スーパー	カネコ種苗	中生	129	8月下旬	249	強	強		4.9	1.7	サイレージ	多収で、南方さび病、ごま葉枯病、紋枯病抵抗性に優れる。また、二期作に適する。

#### 2. ソルガム

タイプ	系統名	流通名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	糊熟期	稈長	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
									すす紋病	紋枯病	生草	乾物		
スーダングラス	HSK-1	ヘイスーダン	雪印種苗	極早生	8月上旬	—	238	強	中	中	12.3	2.3	青刈り、サイレージ、乾草	極細茎で乾燥速度が速い。再生力旺盛。
ソルゴー型 ソルガム	KCS404	高消化ソルゴー	カネコ種苗	早 生	7月下旬	8月下旬	240	やや強	強	強	3.8	1.1	サイレージ	リグニン含量が少なく消化率が高い。
	FS902	ビッグシュガーソルゴー	雪印種苗	晩 生	8月下旬	9月中旬	271	中	強	強	6.0	0.8	サイレージ	太茎、多葉で多収である。耐倒伏性に優れる。

3. ライコムギ、ライムギ

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	糊熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性	収量性(t/10a)		利用法	特 性
								生草	乾物		
春一番	雪印種苗	極早生	4月中旬	6月中旬	113	中	やや強	5.8	1.0	サイレージ、青刈り	極早生で早春の生育が良好であり、安定した収量を得る。

4. エンバク

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	糊熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性 冠さび病	収量性(t/10a)		利用法	特 性
								生草	乾物		
ウルトラハヤテ韋駄天	雪印種苗	超極早生	10月中旬	—	110	極強	強	4.0	0.8	サイレージ、青刈り	耐倒伏性、耐病性に優れ、出穂が最も早く、年内収量が高い。
隼(スーパーはやて)	雪印種苗	極早生	10月中旬	12月中旬	110	中	やや弱	3.9	0.8	サイレージ	秋の出穂が早く、年内収量が高い。
ニューオーツ	カネコ種苗	中生	5月上旬	—	130	中	中	4.0	0.7	サイレージ、青刈り、乾草	細茎、細葉で乾燥が早く、ロールベールに適する。

5. ヒエ(準奨励)

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草丈	耐倒伏性	収量性(t/10a)		利用法	特 性
						生草	乾物		
グリーンミレット中生	カネコ種苗	中生	8月上旬	150	中	3.9	0.8	サイレージ	水田、畑地ともに生育良好。栽培適応性が広い。
青葉ミレット	雪印種苗	中生	8月上旬	150	中	3.0	0.7	サイレージ	耐湿性に優れ、転作田に適する。大柄で多収。

#### IV 飼料向けイネ

##### 1 飼料用稲(飼料用米用)

試験場所	品種名	育成地	早晩性	移植期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	草型	耐倒性	稈長 (cm)	粗玄米重 (kg/a)	乾物収量(風乾重)		玄米 千粒重 (g)	葉いもち 抵抗性	イネ 縞葉枯病 抵抗性	脱粒性	穂発芽 性	玄米の食用品種 との識別性	備考
											籾重 (kg/a)	わら重 (kg/a)							
作物 研究室	夢あおば	北陸農業研究センター	早生	5.27	8.07	9.18	穂重型	極強	80	67.6	86.1	102.9	25.8	不明	抵抗性	難	中	有(やや短粒)	WCS兼用品種。障害型耐冷性やや弱。
	ミズホチカラ	九州沖縄農業研究センター	極晩生	5.13	8.13	10.04	穂重型	極強	75	89.9	115.0	113.0	23.9	不明	罹病性	難	やや易	有(白未熟多)	収量に年次間差あり。トリケトン系除草剤成分に感受性。
水田 利用 研究室	夢あおば	北陸農業研究センター	早生	4.24	7.17	9.06	穂重型	極強	86	90.1	111.6	99.6	23.9	不明	抵抗性	難	中	有(やや短粒)	WCS兼用品種。
				5.22	8.01	9.24			91	78.3	-	-	25.2						
	べこあおば	東北農業研究センター	早生晩	4.23	7.23	9.03	穂重型	強	74	89.2	111.4	82.7	30.1	弱	罹病性	難	やや易	有(大粒、 やや長粒、 白未熟多)	WCS兼用品種。障害型耐冷性弱。
				5.21	7.31	9.19			76	85.8	-	-	30.7						
	オオナリ	次世代作物開発研究センター	中生	5.21	8.09	10.09	極穂重型	やや弱	83	88.9	-	-	22.3	弱	抵抗性	やや難	難	有(やや長粒、 白未熟多)	「タカナリ」の脱粒性改良系統。トリケトン系除草剤成分に感受性。種子の休眠性深い。
	北陸193号	北陸農業研究センター	中生	5.02	8.09	9.20	極穂重型	やや強	85	90.9	115.5	108.5	23.0	不明	抵抗性	やや易	難	有(やや長粒、 白未熟多)	種子の休眠性深い。
				5.21	8.14	10.17			92	89.1	-	-	23.6						
	あきだわら	作物研究所	晩生	5.21	8.13	10.10	偏穂重型	やや強	88	74.6	-	-	21.8	弱	罹病性	難	やや難	無	イネ縞葉枯病の発生が多い地域では、本病の防除を必ず行う。
月の光	愛知県農業総合試験場	晩生	5.22	8.16	10.03	偏穂重型	強	87	64.6	-	-	22.6	強	抵抗性	難	やや難	無	倒伏しにくい。	
ミズホチカラ	九州沖縄農業研究センター	極晩生	5.02	8.17	10.05	穂重型	極強	76	89.6	113.5	99	23.1	不明	罹病性	難	やや易	有(白未熟多)	収量に年次間差あり。トリケトン系除草剤成分に感受性。	

注)栽培概要

1.農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)、2008年～2009年、2011～2012年成績による(うち、2年の平均値)。

1)苗質:稚苗、株間:15～16cm(栽植密度20.8～22.2株/㎡) 基肥:窒素・リン酸・カリは各0.9～1.0kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.3～0.4kgN/aを施用。2)千粒重:粗玄米の値。3)脱粒性:育成地データによる。

2.農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町)、2008年～2012年、2014年～2017年成績による(うち、2～4年の平均値)。

1)苗質:稚苗、株間18～22cm(栽植密度15.2～18.5株/㎡) 基肥:窒素リン酸カリは各0.9～1.0kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.5～0.6kgN/aを施用。2)千粒重:1.85mm調製後の値。3)脱粒性:研究室試験圃場での調査による。

2 飼料用稲(稲発酵粗飼料(イネWCS)用)

試験場所	品種名	育成地	早晚性	移植期(月.日)	出穂期(月.日)	黄熟期(月.日)	草型	耐倒性	稈長(cm)	黄熟期生全重(kg/a)	乾物収量(風乾重)		TDN(DM,%)	TDN収量(DM,kg/a)	葉いもち抵抗性	イネ縞葉枯病抵抗性	備考
											籾重(kg/a)	わら重(kg/a)					
作物研究室	夢あおば	北陸農業研究センター	早生	5.27	8.07	9.02	穂重型	極強	80	384	70.8	87.8	48.1	72.1	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	クサホナミ	作物研究所	極晩生	5.27	8.29	9.30	穂重型	強	82	474	85.0	102.6	48.5	96.8	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
水田利用研究室	夢あおば	北陸農業研究センター	早生	4.28	7.18	8.16	穂重型	極強	88	380	82.1	78.7	45.4	68.6	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	クサホナミ	作物研究所	極晩生	5.22	8.23	9.24	穂重型	強	97	387	83.8	93.7	47.6	75.1	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.02	9.01	9.29	茎葉型	極強	132	412	10.3	226.8	-	-	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
水戸農改	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	6.09	9.11	10.15	茎葉型	極強	114	309	-	-	52.6	-	不明	抵抗性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
	つきすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	6.17	9.13	10.16	茎葉型	極強	113	297	-	-	52.8	-	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
稲敷農改	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.23	9.07	-	茎葉型	極強	124	287	-	-	50.8	-	不明	抵抗性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
	つきすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.24	9.07	-	茎葉型	極強	128	294	-	-	52.3	-	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
近畿中国四国農業研究センター	たちあやか	近畿中国四国農業研究センター	中生	6月上旬	8.18	9.12	茎葉型	極強	112	-	10.2	152	56.1	88.9	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。

注)栽培概要

1. 農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)、2008年～2009年成績による。

1) 苗質: 稚苗、株間: 16cm(栽植密度20.8株/m<sup>2</sup>) 基肥: 窒素・リン酸・カリは各0.9kg/aを施用、穂肥: 出穂前20日を目安に0.3kgN/a(硫酸)を施用。

2) 黄熟期判定: 2008年は極早生～中生は出穂後28日、晩生～極晩生は出穂後32日、2009年は極早生～晩生は出穂後25日、極晩性は出穂後30日を目安にした。

3) TDN(可消化養分総量): 乾物ベース、近赤外分析機NIRSystems社6500型(粉碎型)による。

2. 農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町)、2008年～2010年成績による。ただし、「たちすがた」は2008年および2009年の平均値、「たちすずか」は2011年及び2012年の平均値。

1) 苗質: 稚苗、株間: 18cm(栽植密度18.5株/m<sup>2</sup>)、基肥: 窒素・リン酸・カリは各1.2kg/aを施用、穂肥: 出穂前20日を目安に0.3kgN/a(NK-C6化成)を施用。

2) 黄熟期判定: 2008および2009年は黄化率率が30～40%に到達した日とした。また、2010年は極早生～晩生が出穂後25日、極晩生が出穂後30日を目安とした。

3. 新品种・新技術の確立支援事業実証圃成績による。(2018年および2019年の平均値、黄熟期は2019年、TDNは2018年のみ)

1) 水戸農改: 土壌: 多腐植質厚層多湿黒ボク土、施肥N量2018年はつきすずか8.4・たちすずか7.0kg/10a、2019年は8.1kg/10a、株間役21cm

2) 稲敷農改: 土壌: グライ低地土、施肥N量: 4.2kg/10a、施肥法: 全面全層施肥、株間: 約21cm

4. 育成地公表データによる。2008～2011年成績

施肥N量.20kg/10a